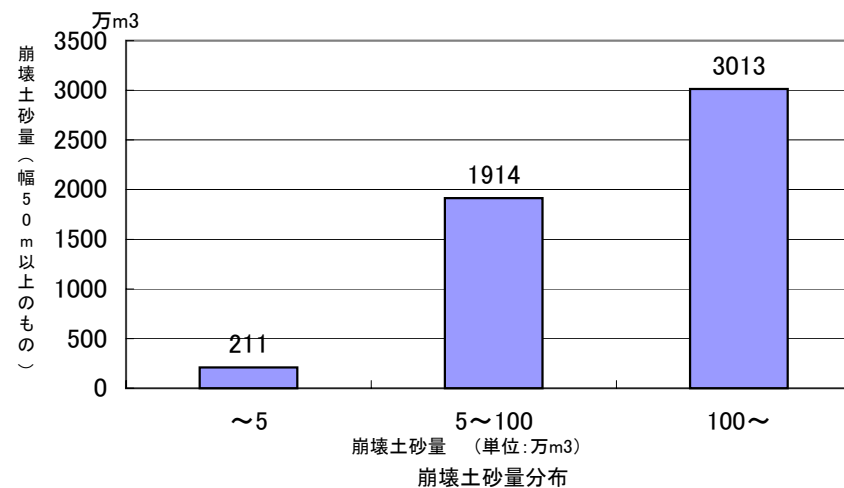
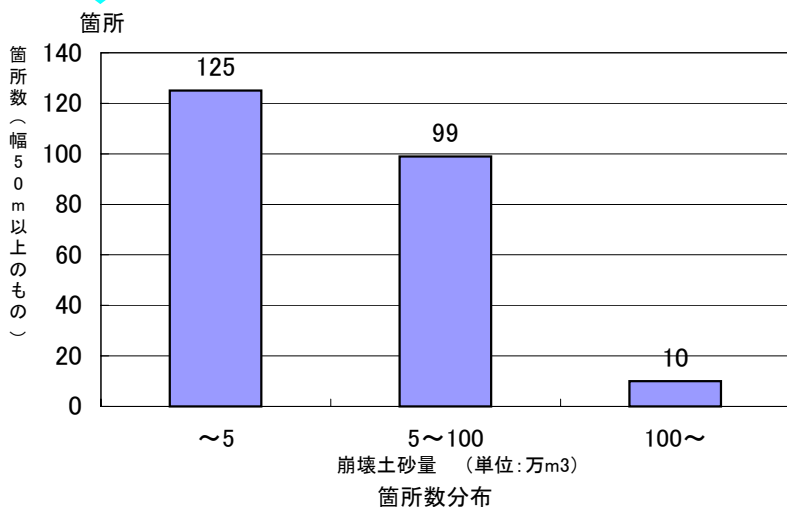
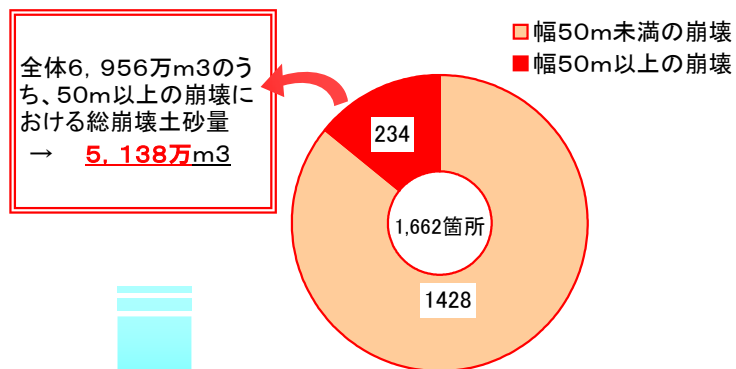


判読範囲全体に対する、芋川流域における崩壊規模の比較

	判読範囲全体		芋川流域	
	箇所数、土砂量	単位面積あたり	箇所数、土砂量	単位面積あたり
崩壊箇所数	1,662 箇所	3.1 箇所/km ²	383 箇所	5.8 箇所/km ²
崩壊土砂量	6,956 万m ³	12.8 万m ³ /km ²	2,366 万m ³	36.0 万m ³ /km ²
うち幅50m以上崩壊	5,138 万m ³	9.4 万m ³ /km ²	1,940 万m ³	29.5 万m ³ /km ²

※判読範囲の平均崩壊箇所数、平均崩壊土砂量に対し、芋川流域の平均崩壊箇所数は、約1.9倍、平均崩壊土砂量では平均の2.8倍となり、被害が集中していることが分かります。

崩壊規模別分類



崩壊幅50m以上の崩壊のうち、箇所数は5万m³以下の崩壊が約5割を占めるが、土砂量で見ると、100万m³以上の崩壊が約6割を占めている。